

4.講話「私と同和教育～38年間で感じたこと～」について、感想やご意見がありましたら、ご記入ください。

貴重な経験をご共有いただき感謝申し上げます。

伊藤先生の貴重な体験をお聞きすることができ、今後、学校のできる取り組みについて考える機会となりました。

伊藤先生が38年間で学校現場や行政で経験された様々な事例を、具体的に話をしてくださいました。それぞれの事例が重く、深く考えさせられました。と同時に少しずつ差別がなくなってきていると伺い、嬉しく思いました。勉強になりました。ありがとうございました。

伊藤さんの様々な立場での経験からのお話だったので、説得力がありました。人権、同和教育の必要性和意義を強く感じた話でした。

管理職として何を大切にしないといけないかとも勉強になりました。伊藤さんありがとうございました。ゆっくりと話を聞きたかったです。

現場で、先頭に立たれ、実践された生の声を聞かせていただいたのでとても勉強になりました。できれば、また別の機会にでも、もっとお話を聞きたいと思いました。

長年の経験から貴重な話をきかせていただきました。今後の学級経営に活かしていきたいと思いました。

貴重な体験談をお聞きできて大変参考になりました。学校に戻ってから確認したいことがたくさんありました。ありがとうございました。

貴重な積み重ねられた経験から、改めて同和教育の大切さを学ばせていただきました。新たな情報もあり危機管理意識も高まりました。

勉強になりました。

ありがとうございます。

経験をもとに分かりやすく、そして熱く講演いただき感謝です。表面の現象にとらわれず人権教育を推進していきます。教職員にも必ず話しておきます。

伊藤先生の話は、学校教育の視点からの具体的な話で、とても参考になりました。ありがとうございました。

もう一度ホームページを確認します。

わかりやすかったです。伊藤先生の38年間のたくさんの経験、勉強になりました。

ありがとうございました。

日頃から、現場でやれることがたくさんあるんだと思わせられました。

伊藤先生ありがとうございました。勉強になりました。学校に帰り、もう一度取り組みを見直します。

人権教育は進路保障、学力向上は学習保障、意識が変わりました。伊東先生の人権への真摯な取り組みが伝わりました。学校に戻り一つでも多く実践します。

参考になりました。

多くの場面で自分が活躍できることがあるのだと感じた。

お話を聞きながら、管理職としてどうあるべきかを考えさせられました。学校で再度点検して、教頭をはじめ、職員とともに取り組んでいきたいと思えます。

・わかったようでわかっていなかったことを的確に指摘していただきました。感謝いたします。

準備、発表ありがとうございました
大変、奥深い内容で多くのことを考えることができました。ありがとうございました。
大変勉強になりました。教育を豊かになるために、尽力していきたいと思います。
人権・同和教育へ組織をあげて取り組む事の大切さを再認識させられました。
まだまだ自分が感じてない場面がありました。管理職としての立場、考え方、教職員への働きかけを大切に考えていきたいです。講演ありがとうございました。
児童生徒支援教員として、あらためて在り方を学ばせてもらいました。主体的に自らすすんで学びを広げて、関わっていく必然性を感じました。本当にありがとうございました。
具体的に、かつ、伊藤先生の思いがよくわかりました。本質を見抜くこと、大切ですね。
身が引き締まりました。ありがとうございました。
伊藤先生の経験を踏まえた話ありがとうございました。私も気づいていないてんがありました。ありがとうございました。
学校に戻ったらすぐに確認したいことが幾つもありました。お話を聞くことができて良かったです。
気合いが入りました！！
何が大事で、どこに視点をおくか。
実際に体験されてきた力のあるお話でした。
特に差別する人は尊敬されないし活躍もできないという言葉を全くそのとおりに思いました。
まだまだ私自身の学びの足りなさを感じ、これからも自身磨きを続けたい
管理職として、子どもたち、そして職員の人権意識を高めていくために、まずは自分をもっと感度を上げなければと改めて感じた
誰一人取り残さないように、全職員で頑張ります。相談したいことがあったら、直接お願いをさせてください。
貴重な体験に基づくご講話をありがとう
学校に戻り確認することに気づかされました
人権同和教育を推進していくにあたり、多くのご示唆をいただきました。学校全体で共有し、実践に繋げていきます。
講話を聞いて、自分自身が勉強すべぎことばかりでした。本日の内容を児童支援員の配置校ということをかして組織としてすべきことを一緒に考え、実践に移したいと思いました
自分自身が佐同教の会員であることの、自覚がまだまだ足りないことを実感しました。これを機に、佐同教のホームページでの学びを増やしていきたいと思ます。大変学ぶことが多い研修会でした。ありがとうございます。
とても貴重なお話でした。これからどうすべきか、ヒントをいただいた気がします。ありがとうございました。
教師のアンテナ 差別する側も幸せにならない。印象に残りました。学校に持ち帰って、全職員に伝えます。もちろん、他のこともです。ありがとうございました。
本校の現状を改めて確認し、担当者を軸にして取組を確実なものとなるように、教職員の意識を束ねていきたいと思ます。ありがとうございました。

管理職として、勤務校の総点検を行っていきたくて思いました。担当者と打ち合わせて、取り組みます。ありがとうございました。
全職員で理解することを再認識させられましたし、自分の学校でやっていないことも認識できました。
ありがとうございました。
経験に基づく話は、伝わり方、空気が違うことを感じた。管理職としての意識を高めていかなければならない。
人権侵害事象への対応マニュアルを全職員で共有したい。
また、講師の伊藤さんの取り組みや熱い思いを少しでも本校職員に伝えたいと思った。
具体的、ポイントを絞って話をしていただきとても分かりやすかったです。所々、再確認しなければということもあり、とても勉強になりました。本講演をもとに、今日の気づきを確認して見直すべきところは、修正していきたくて思っています。
伊藤さんな話、とても学びになりました。ありがとうございました。
貴重な話を伺い、今後の研修に活かしていきたいと思いました。ありがとうございました。
管理職という立場で校内でどのように推進していかなければならないかというご示唆をいただいた。
佐同教会員のことについては確認したいと思います。ありがとうございました。
人権教育への思いが詰まったお話を聞かせていただきありがとうございました。
伊藤先生のお話、心に響くものがありました。知っているようで、知らないことがたくさんあり、改めて佐同教のホームページ等で勉強したいと思います。
佐賀県の教職員は全員会員であること、そのことを自覚して、管理職として学びを推進していかなければならないこと、とても示唆に富むお話でした。ありがとうございました。
管理職として、改めて自分のなすべきことを感じ取れた貴重な講演であった。
管理職としてこれまで見落としていたことが多々ありましたので、大変勉強になりました。ありがとうございました。
言葉の捉え方はとても難しく苦慮しているところですが相互理解を諦めず学校経営を進めて参ります。ありがとうございます。
差別を見逃さないアンテナを管理職は持たないといけない、また、職員にも持たせないといけない、このことを再認識しました。
管理職として初めて参加しました。まずは私が知ることが大切だと感じました。今日はありがとうございました。
心に残ったコトバを紹介されたが、いろいろことを考えさせられた。また、社会事象を掘り下げていただき勉強になった。
もっと聞きたかったです。伊藤先生がよろしければ…またの機会があれば幸いです。
自分の学校経営と照らし合っしながら講演を聞いていた。今後の学校経営に生かそうと思いました！お疲れ様でした。ありがとうございました。
管理職として本日の内容を踏まえて、人権意識と人権教育をしっかりできるよう努めたいと思いました。
差別は人と人を分断するもの。差別をなくすことは、人と人を繋ぐもの。とても心に響きました。明日から子どもたちに伝えていきたくて思いました。貴重な講演をありがとうございました。
様々な差別がある中で、子供は「いつ、差別という行為を学ぶのだろう」と思っていました。けれども、環境が、教育が大きく関わっていると改めて感じた今、しっかりと計画を立てて、人との関わりに対して視野を広げる活動をしていきたいです。

時間が足りないくらいでした。何かの機会に本日お話しただけなかったことをお聞きしたいと思いました。
かなりの学びとなりました。ありがとうございました。
感銘を受けました。資料をよく読み込んで自分のものにしたいと思います。校内で広げるために。プレゼンの仕方については、自分にない方法で、今後役に立てたいと思います。黄色の背景は衝撃でした。
先生の話を押聴しながら、これまでの自分自身の指導のあり方や、管理職としてのマネジメントを再考する機会となりました。
子どもたちの小さな言動や表情を見逃さない教職員集団でありたいと思いました。様々な資料についても改めて見直したいと思います。本日はありがとうございました。
管理職の立場でどう動く必要があるか、経験を基にお話ししてくださったので、とても参考になりました。学校に戻ったら、人権・同和教育担当と相談しようと思いました。HPの活用を活性化したいと思います。ありがとうございました。
明日からの学校経営に活かせるや内容でたいへん勉強になりました。ありがとうございました。
伊藤先生の経験からの生の声を聴くことができ、とても参考になりました。ありがとうございました。
数多くの事案に前向きに、そして主体的に取り組んでこられたことがよくわかりました。もっと時間があれば、と思うくらいに素晴らしいご講話でした。ありがとうございました。
地区担当者として目の前の子どもたちの幸せのために尽力したいと痛感しました
会員の件など、目から鱗のお話でした。転入してきた子どもが、学校をどう感じるのか、肯定的に感じることができるよう、職員と共に学校づくりに取り組みたいと気持ちを新たにしました。
講師が時折「〇〇は学校で行っていますか」「〇〇について知っていますか」と問いかけたことに対し、やっていないことが多くあったため、学校に戻り調べなおそうと感じました。
人権・同和教育は人として大切な教育だと改めて感じました。若い先生方にもしっかり伝えていけるよう頑張ります。まずは自分がホームページを開いて見ます。
非常に多くの内容が短時間に詰め込まれていて、消化不良の面もありますが、伊藤先生の思いが伝わるいい講演だったと思います。すべての教育活動の根底に人権・同和教育の視点を持つことの大切さを、管理職として実際の指導に当たる先生方に伝えていかなければならないと強く感じました。
人権とは差別とたたかった人々によって一つ一つ勝ち取られた権利という教え方をしていなかったのも、そのことを伝えていきたいと思いました。差別やいじめはする側もされる側も、誰も幸せにしないということを伝えていきたいと思いました。
人権・同和教育を推進する立場としての自覚と責任を強く感じました。困っている人の立場に立って考えるということは、その人の背景や心情に本当に寄り添うことができているかどうか問われます。それができれば差別やいじめも無くなります。職員一人ひとりの人権意識を高めていくためにも、まずは自分自身の人権意識をより一層磨いていかなければと強く思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

貴重なお話を聞かせていただき、感謝申し上げます。本気で差別をなくす気があるのかと、問われているようにも思いました。人権を勝ち取るためになされた努力や、払われたものの結晶として、今私たちの周りにさまざまな財産があることを教えていただきました。本校は人権教育を基盤とした校内研究を進めており、本日のお話は研究と実践に多くのご示唆を与えていただいたと思います。本日はありがとうございました。

伊藤先生の講話、拝聴出来てよかったです。ありがとうございました。

佐賀県の人権・同和教育の組織等が他の都道府県と違いがあることを、これまであまり意識したことがありませんでした。

研修の必要性を改めて感じました。

知らないことが多く、学ぶべきことが多くあることに気が付くいい機会となった。

昨年度まで伊西地区にお世話になっていたのですが、いろいろな方とお会いする機会や、学びの機会がありました。それでも、今日の問いかけに100%ではなく、これではいけないと背筋が伸びるおもしろいお話を聴かせていただきました。今年は環境が変わり、自分自身が引っ張られるよう取り組みたいと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。

短い時間の中に熱い思いが溢れるお話でした。その思いを引き継ぎながら教育現場であらためて人権教育を推進していきたいと思いました。

職員に対し、会員であることの自覚と、会員である意味を理解してもらう学びを展開していきたい

児童の人権意識を高める実践をしていきます。日々の積み重ねを大切にしていきます。

ご本人が感じたこと、考えたことを率直にお話しいただき、ありがとうございました。また、学校の研修体制の見直しや、対応マニュアル等の再確認を管理職として早急に行わなければならないと感じました。

今日、学んだことを学校に持ち帰り、人権・同和教育の推進に役立てていこうと思います。

ありがとうございました。

とても奥の深い話を聞くことができ感謝しています。我々が常にその意味、その趣旨を意識して人権・同和教育に当たらねばという責務を痛感しました。ありがとうございました。

いかに子どもたちにアンテナをたてて、受け止めるのかが大事であることを再認識いたしました。

改めて管理職としてすべきことが整理できました。ひとつひとつの対応が大変参考になりました。立ち止まり考える機会をいただき本当にありがとうございました。

教員として、管理職として、人権・同和教育のいくつもの示唆をいただきました。

ありがとうございました。

分かりやすい説明でした。まずは、感謝の気持ちが湧きました。なんとなく、ぼんやりと理解していたのだなと思う部分がありました。断片的に理解していたことが繋がったり、いま、述べていることが抽象的になって申し訳ありませんが、ありがたく感じました。誰もが周囲を、相手を思いやり感謝の気持ちを言葉だけではなく行動として、態度として表しあって生きていきたいですね。

伊藤さんの長年の差別の現実の現実に学んでこられた、そのエキスを教えていただき感謝申し上げます。校長としての責任について再確認し、身が引き締まる思いでした。ずいぶん急いでお話をされたので、そこが残念でした。

会員や組織の仕組に考えを及ばせたことがなかったので、新たな発見・学びがありました。伊東先生の教師（人）としての根本姿勢を伺い知ることができ、話を聞きながら、先生の教員生活を一緒に辿った感じがしました。管理職として先生方をどう導いていくか、考えさせられました。ありがとうございました。

行事の都合で、総会が終わって学校へ戻りました。

申し訳ありません。

とても参考になりました。今まで取り組んできたことを振り返る機会になりましたし、まだまだやるべきことがあると実感しました。伊藤先生ありがとうございました。

児童生徒支援員として、校内での役割として、何より1人の教員として、様々なことを考えました。非常に胸に刺さった講話でした。もっとたくさんの先生方（例えば市同研や、校内研修など）と一緒にまた、聞きたいと感じました。

これまでの人権-同和教育の積み重ねのもとに、今があることを実感いたしました。ご経験に基づく具体的なお話がとてもありがたかったです、

ハードで骨太の講話でした。胸にずしんとききました。久しぶりに「本物」を聞かせてもらいました。ただ、この話リモートでいけるのではないかと思いますし、リモートなら、同和教育担当にも聞かせられると思いました。教育に携わる多くの方々には聞いてほしいお話でした。

今まで、会員である事について考えたことがなく、自分の人権同和教育に向き合う態度も勉強不足な事も痛感する話ばかりだった。学校に戻って、職員と話したいと思う。ありがとうございました。

長年の経験に基づいたお話は、重みがあり心に深く響きました。同和問題の解決に向け、私たち一人ひとりが真摯に向き合うことの大切さを改めて感じました。

ご経験を話していただき、自分と照らし合わせながら聞くことができました。ありがとうございました。

佐賀県の教職員が自動的に佐同教の会員になっており、市町行政が会費を負担していることを私を含めほとんどの職員が知らずにいるので、周知意識化を図る必要があると感じました。人と人を繋げる意識を持ち続けながら教育に当たらせるよう職員の意識化を図っていきたいと思います。大変心に響く講話でした。

もっと佐同教会員としての自覚を持たなければと反省しました。表面の現象にとらわれず、本質を見抜いて本当に困っている側に寄り添わなければならないと改めて感じました。本校の職員にも伝えて、人権教育をさらに進めていきたいと思います。ありがとうございました。

自分自身のアンテナをきちんとはっておくことの大事さを改めて考えました。

管理職を含めて教職員全ての意識を変えて再構築して取り組んでいかなければと感じた。行動の背景をしっかりと見ることができるよう、こちらが敏感になりたい。

これまでの経験から発せられる具体的な言葉は、納得させられるものがありました。子どもたちの表情や一つ一つの言葉に注意しながら対応していきたいと思います。また、多くの情報を取り入れて、自分のアンテナを高く保てるよう心掛けます。ありがとうございました。

「やさしい」という言葉の意味について、また「知識があるだけでは意味がない」という言葉の重みを感じ、深く考えさせられました。

危機管理、安全管理にもつながる学び多いお話でした。今一度自分の学校を振り返りたいと思います。ありがとうございました。

勤務校の推進状況を1つ1つ振り返ることができました。あまりできていないと思ったところは、対策を考えていきたいです。
知らないことがまだまだたくさんあることに気づきました。
経験に基づいたお話で、大変ためになりました。
勉強になりました
大変勉強になりました。フライヤーを全職員でアクセス後は、それぞれに任せていたので、今年度は対応マニュアルや研修資料を担当と確認して、校内研修に生かしたいと思います。ありがとうございました。
講話を聞いて、伊藤先生の生き方そのものだと思います。校長職最後の年ですが、まだまだだと改めて感じたところです。校長として、本校職員に伝えるべきことや全職員で取り組むべきことが見えました。子どもたちに単語で答えさせるような発問ではなく、文章で答えるような発問がよいことなど授業改善の視点でも大変共感しました。今年度の人権・同和教育を必ず推進していきます。それが母校への恩返しであると思います。ありがとうございました。
差別とは人と人を分断すること。差別をなくすとは人と人を結びつけること。この言葉が最も印象に残りました。
差別といじめ、もし起きてしまったら、、、そのことを思い浮かべることができる生徒、思いやりのある生徒になってほしいという思いがより強くなりました。なかなか見に行けなかった、様々なコンテンツも紹介いただいて、勉強になりました。さらに深めていけるように努めていこうと思います。
先生が伝えたい事がよくわかる講話でした。 また、生徒、保護者からの「コトバ」の中に含まれている意味を深く考えることの大切さも学ぶことができました
自分の勉強不足ということがよくわかった。まずはHPを見て勉強。職員にも啓発していきたい。
伊藤さんのこれまでの教師人生をお聞きできて本当にありがたい事でした。ムラの方々との交流や確かな実践に裏打ちされた言葉は重いですね。さらに行政も校長も、経験されての言葉なので、この会には最適なお話でした。私たちが似たような事を申しても響かない、届かない思いを言っていただき、本当にありがたかったです。始まりの時間が遅くなったこともあり、だいぶ端折られた感じでしたので、完全版をまたお聞きできたらとも思いました。
改めて襟を正ささせていただきました。職員に伝えるべき内容がたくさんありました。ありがとうございました。
伊藤春雄先生の38年間の実践に裏打ちされた人権同和教育に関する講演を拝聴いたしました。特に「いじめや不登校の問題も、人権教育の視点から捉えることが重要である」というお話は、胸に深く刻まれました。
差別もいじめも同じと考えて、する側もされる側も誰も幸せにならないことを部落差別を解消するための学習を通して、子ども達におちるようにしていきたいと感じました。
準備されていた資料を省略しながら時間を気にされていたので、じっくり聞くことができたならよかったですと思いました。研修の必要性を感じました。
同じ教員でも伊藤さんのように常に問題意識を持ち、生徒が生きていく上での実たる教育を実践されてきたことに感銘を受けた。うわべだけの知識ではなく、心を動かすような教育の必要性をつよく感じた。
佐同教の成り立ちや意義等を、恥ずかしながら初めて知った。大変勉強になった。

<p>不適切な発言に対して、教職員には感度の鋭さ佳大切だと改めて感じました。差別は、誰も幸せにはしない。差別する人は、尊敬されないし、活躍することもできない。本当にその通りです。心に響く言葉でした。子供達に伝えたい言葉でした。</p>
<p>伊藤さんとは、昨年の11月1日の分科会でご一緒させて頂き、あたたかいお人柄と、分かりやすい話し方、人と人が関わっていく中で、大切にしていかなければならないものなどを、教えていただきました。今日も、支援教員として私がやらねばならないこと、この立場を与えて頂いたことに感謝して、出来ることをこれからもやっっていこうと思いました。スタッフの皆様、本当にありがとうございました。これからも、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>これまで、私は「人権とは」人間が生まれながらにして当然持っている権利という表現で教えてきました。しかし、今日伊藤先生の話聞いて、「人権とは」差別と闘った人々によって1つ1つ勝ち取られてきた権利とこれからは、教えなければならないと思いました。また、差別は差別する側が悪いというのは教えてきました。しかし、差別という言葉はいじめという言葉に置き換えるという発想はなかったので、なるほどと納得させられました。</p>
<p>非常に分かりやすく話していただき、考えながら聞くことができ学び多い時間となりました。ありがとうございました。</p>
<p>伊藤春雄先生のお話には、とても引き込まれて、そして考えさせられました。差別という言葉はいじめという言葉に読みかえると、という点も大変参考になりました。</p>
<p>38年間積み上げてこられたからこそ、人権意識の高さが伝わってきた。人権教育を学校教育の根幹に据えて、学校経営に当たりたいと改めて思った。</p>
<p>とても実践的で、体験に基づいた貴重なお話でした。ありがとうございました。</p>
<p>大変勉強になりました。</p>
<p>人権・同和教育に関して、年間計画を立て、人権週間を中心に学習を進めてきましたが、普段からの私達の意識を高め、アンテナを高く張り、子供達の様子や、先生方の様子を把握していくことの重要性を改めて感じました。伊東先生のお話を自分なりに咀嚼し直し、職員へも伝えていきたいと思えます。</p>
<p>豊富な教育実践に基づく、実践で大変参考になりました。生徒の困り感に気づいて、それに寄り添った指導や支援を進めることの大切さを改めて考えさせられました。これからの実践に活かしていきたいと思えます。</p>
<p>勉強になりました。職員向けの講演をしていただいたらという意見を多く聞きました。</p>
<p>危機管理及び人権同和教育について、まだ認識が甘いことを痛感させられる講話でした。何かあった際に速やかに対処できるよう全職員で学び、人権学習を充実させ児童生徒が正しい判断と認識で行動できるよう努力して行きます。</p>
<p>今までわかっていなかったことをたくさん学ぶことができました。ありがとうございます。本校の研修に活かしたいと思えます。</p>
<p>人権同和教育は、適切な時に適切な内容で実施することが重要なのだ、とおっしゃいました。教壇で教えることはありませんが、何かについて学ぶときもしくは学ばせたいとき、時期尚早であるなら時期をずらし、正しく伝わる・受け入れられる体制づくりをすることは、私生活や仕事の上でも非常に効果的なのだとあらためて気づかされました。</p>
<p>伊藤先生のこれまでの思いが強く心にささるよう感じています。</p>
<p>普段の行動をあらためて見直さないといけないと思っています。</p>
<p>管理職として、あるべきスタンス、自校のこれまでのことを振り返ること、教育活動の見通し等について考える必要性をもたせる内容であったと思えます。理路整然としたお話の根底に伊藤先生の信念や思いを感じました。ありがとうございました。</p>

直接最前線に立って同和教育（人権・同和教育）を実践する立場から少しはなれています。お話を聴きながら、自分の感覚が鈍っていると感じています。「佐賀メルカリ事件」まさに、この事件が発覚したとき、県の人権・同和教育室に勤務していました。対応に追われることもありましたが、学校教育につきつけられた課題と捉え、人権・同和教育をさらに推進していこうという決意を確認したものです。今、人権・同和教育に長年たずさわった者の使命として勤務校で管理職として職員に伝えているところです。

38年間の経験、人権・同和教育の実践、校長や行政の経験をふまえ熱い思いを語られ、もっと話しをお聞きしたい位でした。

特に ・全教職員が会員

・自校にも「ムラ」にルーツをもつ子どもがいる

一人一人が当事者意識をもって取り組むことが大事だと改めて思いました

また、主体的な思考力、判断力をつけ、人権・同和教育を推進していきたいと強く思いました

ありがとうございました

職員の研修等を通して佐同教会員としての自覚を促していきたいです。そのために管理職として責任を

もって学んでいくことが大切だと再認識しました。佐同教のHPを活用していきたいと思います。

地域毎ごとに教育の推進状況がちがうことに驚かされた。知識のみでは何の役にも立たないと言われたことが心にきざまれた。推進者としてフォルダの管理をしっかりと行うようにしようと思った。本質を見抜くといわれたのが心に残った。ありがとうございました。

「教育を豊かに」と同和教育のつながりについて、伊藤さんの経験に裏打ちされた講話、ありがとうございました。

佐同教の取組について、詳しくいねいに話していただきました。改めてHPを見てみようと思いました。

自身の経験をふまえて、学校での取組の具体例がとても分かりやすかったです。

もっとゆっくりお話を聞きたいところでした。

学校教育活動のあらゆる場面において意識づけしていきたい。

分かりやすい講話としていただいてよかった。

実際の体験を通しての講話で話に重みがあった。

まず、きちんと理解できていないことがたくさんあることに気づかせてもらいました。後は、人任せにせず、自分がどれだけ学ぶか行動するかだと感じました。ありがとうございました。

とてもわかりやすかったが、早口のため、聞き取れなかったところ、理解に達する前に次に進まれているので、もう少しゆっくり講演していただきたかった。時間が短くてもったいないと思いました。勉強になりました。ありがとうございました。

自分の無知を新たに、改めて知り、今回学んだことをしっかり受け取り、周知しようと思いました。ありがとうございました。

具体的な事案を取り入れて講演いただき大変貴重な経験をさせていただきました。大変感謝いたします。

伊藤先生、38年間お疲れ様でした。伊藤先生の人権・同和教育への熱意が伝わってくる講話でした。多くのことを学ばせてもらいました。

具体的で佐賀県の現状がよくわかり、また、自分のことを振り返る分にどう教育に関わっていくか考えることになった。貴重な話が分かりやすく話してもらったと思います。

とても勉強になりました。先生のお話を聞いて、知らないことのこわさを改めて感じました。これからも勉強し続けていきたいと思う気持ちにさせて頂ける話でした。本当にありがとうございました。明日からまた子ども達のために頑張りたいと思います。

38年という長い経験からの話はとても分かりやすかったです。私は今回管理職の代わりで来ました。年間計画に人権・同和教育についてどう示しているか、これまでの本校の記録などを確認しようと思います。佐同教の一員としてHPなどを見て勉強し、児童のため学校のため自分のため学び続けていこうと思います。ありがとうございました。

知らないことで「いじめ」「差別」になる。この言葉が突きささりました。不登校、いじめの奥（裏側）に根っこがある。まさにそうだと思います。家庭に触れることができてないことで、問題解決に時間がかかったり見過ごすことはとても多いと思います。職員にいつも生徒の変化に気づいたら管理職へと伝えていますが、こちらからも聞き出すことが大切であり、講演の中でやってきたことを肯定されたのはとても励みになりました。現場では人手不足と家庭・社会の問題が複雑化しています。これからもできることをしっかり取り組んで生きて。

いろいろと伝わってくるものがありました。一つ一つもう少し具体的にお話をお伺いしたかったです。限られた時間の中で貴重なお話ありがとうございました。

38年間の経験をもとに話をされて自分のとらえかたの甘さを実感しました。管理職として職員一人一人の意識の向上を目指して取り組んでいきたいと思いました。ありがとうございました。

教師がアンテナをはって児童生徒に接することどう指導していくのか、きちんともっておくことまだまだ甘いなという思いを受けた。知って行動、子供たちの幸せのためにこの児童支援員で自分自身学習していきたい。

とてもよい学びとなりました。差別をいじめにおきかえた時、学校場で置き換えて、拝聴させていただきました。真に私の役得につながりました。いじめをする人は尊敬されないし、活躍することができない。誰も幸せにならないということが印象に残りました。ありがとうございました。

最初はメモをこまめにとっていましたが、内容がよく引き込まれて、メモが取れなくなってしまいました。もっと、ゆっくり話を詳しく聞きたかったです。

伊藤先生の振り返りの中で、現在の状況や同和教育がどのように行われてきたかがよくわかりました。研修体制の確認と、人が変わっても…の部分をしっかりやりたいと思います。

人権・同和教育に本気で取り組まれた声が伝わりました。本校に戻り、組織の確認をして、推進したいと思います。

伊藤さんが経験されてきたこと、たくさんの思いが伝わる講話でした。特に、子どもの問題行動の背景にある状況や思いに目を向けることの大切さ、それは、被差別部落の人たちのさまざまな思いにも通じるもので、とてもよくわかりました。

「本当に困っている側に寄り添わないといけない」この言葉が心に残りました。賤称語を学ぶ意味を考えると、ただの教えっぱなしにならないようにすべきだと、改めて感じました。

人権・同和教育についての情報発信をしっかりせねばと思いました。ありがとうございました。

とても勉強になりました。当たり前のように思っていることが、当たり前ではないこと、知らなければ、新たな差別が生まれてしまうことを再認識いたしました。ぜひ、今後もお話を伺っていきたく強く思いました。本当に貴重なお話、ありがとうございました。

38年間のご経験のお話から、いろいろなことをご教示いただきました。児童生徒さんをはじめ実際に関わってこられた方々の声は、とても心に残っています。人権・同和教育に留まらず、学校運営の在り方にまで及ぶ内容で、たいへん参考になりました。今後、管理職として、人権・同和教育の浸透のため、学校や職場のたくさんの経験から様々なお話を聞くことができ、大変ありがたかったです。お話を聞き、全職員が佐同教会員という自覚を持ち、人権教育に取り組まなければならないということを改めて感じました。こちらの価値観で「そのくらい大丈夫」と勝手に判断せず、常にアンテナをはって見逃さない、そしてその感覚を児童に伝えていく教員になりたいと思いました。また、それを全職員で取り組めるよう、学校で他の職員に伝えていきたいと思ひます。

普段の一つ一つの取組等を確認する意味でも有意義でした。

大変勉強になる講演だった。また自分がいかに不勉強であるかを痛感させられた。「●●についてはご存知ですよね？」という問い掛けに答えられない自分が非常に情けなく、この先やっていけるのか不安になった。しかしこれからも学び答えられるような知識を身につけ、行動に移す事ができるようになりたい。

佐同教のこれまでの歴史的な流れを伊藤さんの経験に基づいてお話いただいたので、大変参考になりました。初めて耳にすることが多く貴重な機会になりました。

人権・同和教育とともに歩まれた38年間のご経験と実績から語られる言葉の一つ一つに重みを感じました。講話で話された、学校における教育活動を人権・同和教育の視点から総点検すること、人権を学ぶと学校が変わるということ、を肝に銘じ、これからの教育活動にあたっていきたくと思ひます。

具体的な事例がいくつもあり、資料も豊富であつという間に時間が過ぎました。感度高く、これからも生きていきたくと思ひます。ありがとうございました。

なぜ佐賀県の全教職員が佐同教の会員なのか、考えたことがありませんでした。それだけ人権・同和教育を推進していかなければいけないと思ひました。また、一人一人が自覚を持つように、今回の自分の立場でできることを考えたいです。先生の『人権意識がある子どもたちとは？』のお話で、お便りに写真を載せる時に学級の子どもたち全員がいるか確認していたことを思い出しました。自分自身が人権意識をもって過ごすことは、子どもたちにとても大切なことだと思ひました。

子どもたちは、意味も分からず不適切な発言をしていることがあります。その言葉に対して「傷つく人がいるから使ったらだめ。」と他人事にとらえるのではなく、「〇〇だから使ったらだめ。」と子供が理解できるような説明をして子どもたち自身が判断できるような力を育てていきたくと思ひます。

今まで『人権』とは、一人一人が生まれながらに持っている権利と思ひていましたが、『差別とたたかった人々によって一つ一つ勝ちとられた権利』という言葉

・もっとゆっくりと話を聞くことができたら良かったと思ひます。

・38年間の重みを傾聴することができ貴重な時間となりました。やはり人権問題は学び寄り添うことだと感じました。知ることとは学ぶことだと新たに心にひびきました。またぜひ、お話が聞けたらと思ひました。

・経験に基づいた貴重なお話をありがとうございました。「差別をいじめと読みかえると」という話を聞き、改めて研修を深めていきたくと思ひました。

非常に実際的な内容で、自分の考え方の整理、今後の学校での指導方針の立案に役立ちました。

本日は講演ありがとうございました。多くの知見をいただき大変参考になりました。「当事者に寄り添うこと」「知識の伝達だけでは足りないこと」学校が差別解消にどれだけ貢献できているか、これから何ができるか、するべきかさらに考えてまいりたいと思います。

大変わかりやすい内容であり、勉強になりました。

人権・同和教育を学校でどのように推進していけばよいか具体的に教えていただきました。

- ・35時間の道徳で活用する
- ・4月当初全職員で共通理解する
- ・人権・同和のフォルダを作成し、引継ぎを行っていく

できることからすぐに本校でも行っていきたくと思いました。

全職員が会員であるというメリットをしっかり生かしていきたいと思います。

お話していただいた各種資料等、改めて確認して活用していきたいと思います。

人権・同和教育について詳しく知ることができてよかった。メルカリ事件で何が問題だったかがわかった。学ぶ環境の大切さを感じた。

人権・同和教育は、教育を豊かにすることを改めて再確認することができた。寄り添うことが基本だと感じた。

外人、ハーフ、ケガれる、などのことば職員会議で話題にしたいと思います。

佐同教のHPを見て、勉強しようと思いました。管理職として、職員にアンテナの感度を上げる策を考えたり手を打つことが大事であることに気づきました。何もしてなかったと反省しています。自分の勉強も足りていないと思いました。

伊藤先生の今日のお話を聞いて、人権・同和教育はすべての活動を通して常に行われているということに気づきました。私たち教師が発する一言一言の重みや、何気ない行動すべてが子どもたちに影響を与えていることを改めて認識しました。「知識」は何のために学ぶのか教えるのか、「人を幸せにするため」「自分が幸せになるために」あることを私たち管理職が職員に常に言っていかなければならない、そのためにはまず私が人権感覚を磨くことをやっていきたいと思います。今日はありがとうございました。

「差別」は人の分断という言葉が非常に心に残りました。また、先生の講話を聴き、無知は罪であると感じました。私自身が知らなかったり、不勉強であったりしたことを自覚できたので、学校に戻って、しっかりと学ぶことで、子どもたちの教育に生かしていきたいと思いました。

非常に学びの深い時間でした。“本人と話をしなければ分からない”

本質を見抜くことは、問題解決の手がかりや子どもの心を守ることにつながると思います。もっと学習を深められるよう、私自身が勉強したいと思いました。ありがとうございました。

2.自分の教育に係る考え方をもう一度考え直す、見直すことができた。誰ひとりとり残さない、児童生徒も教職員も…という目でもう一度とらえなおしてみようと思います。

2.本格的な実践と具体例で感動しました。本日参加できて良かったです。ありがとうございました。

2.多くの経験からたくさんの重みのある教えをいただきました。人権・同和教育をこれから学んでいく若い教員にぜひ聞いてほしい話でした。私自身もあらためて人権・同和教育の推進に力を入れていく必要があると思いました。今、昔のような児童や家庭との関わりが難しいところもありますが、やはりそのような関わりが大事なのではと思いました。今現在でもできる関わり方を考えていくことも視野に入れて人権・同和教育を進めていきたいと思いました。

2. 賤称語に関する授業を行うか行えるか否かの判断を問われているということにはっとさせられました。子どもの実態、授業者と子どもの関係等見ていきたいと思
います。ありがとうございました。

2. 意見はありません。大変勉強になりました。本日は本当にありがとうございました。職場で伝えていくために勉強をしていきます。